

1 基本理念

本市では、地域に暮らす人々が、人として生きがいを持って充実した日々を過ごし、「一人ひとりに役割と居場所のあるまち」を目指しています。その実現にあたっては、市民が主体となって、市民と行政が協働して様々な課題に取り組んでいく必要があります。

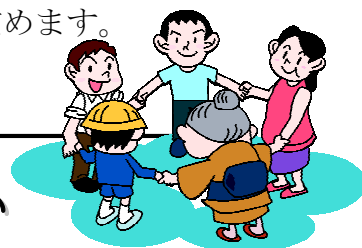
生涯学習の分野においても、行政が一方的に学習を提供するのではなく、市民が主体となり、行政がそれを支援していくことを基本に、市民と行政が手を取り合って進めていく必要があります。

また、生涯学習は楽しく取り組むものであり、学んだことを教え合うことにより、出会いの機会が生まれ、人と人がつながるきっかけとなります。さらに、生涯学習は人生を豊かにし、一人ひとりが輝くものとなります。

これらを踏まえ、本構想における基本理念を、次のように定めます。

基本理念

みんなでつくろう！ 楽しく学びあい
人がつながる 輝くまち



みんなでつくろう！

市民が主体となって、行政がそれを支援することにより、市民と行政が手を取り合って“みんなで”まちを“つくる”

楽しく学びあい

一人ひとりが“楽しく”学び、学んだことを地域に広め、ともに“学びあう”

人がつながる

学習を通じて出会いの機会が生まれ、人と人が“つながる”きっかけとなる

輝くまち

学習することにより人生が豊かになり、一人ひとりが“輝くまち”をつくる

2 基本目標

本市の生涯学習の現状と課題を踏まえたうえで、市民が主体となって、市民と行政が協働して取組む考え方のもと、基本理念に掲げた『みんなでつくろう！ 楽しく学びあい 人がつながる 輝くまち』の実現のため、基本目標として「**学びあい**」「**市民参加**」「**地域交流**」「**学びの場**」の4つの柱を掲げます。

基本目標① **学びあい**

“教えあい、学びあい”を促進し、ふれあいを育みましょう

生涯学習は、市民参加や市民同士の交流の場としての役割が重要です。学習活動を通じて市民がともに学んでいくことにより、出会いやふれあいの機会が生まれ、地域共生へとつながります。

また、学習成果を地域社会に還元することにより、まちづくり・地域づくりに役立たせることができます。

その意味で生涯学習は、まちづくり・地域づくりの人材育成の場を提供するという新たな使命を持つことになります。

基本目標② **市民参加**

いろいろな学習メニューを充実し、
だれもが楽しく参加できるようにしましょう

生涯学習は、豊かな情操を養い、健康維持・体力増進に加え、ストレス解消など精神的充足が図られ、暮らしを一層充実させます。

本市に多く存在する歴史的な資源や豊かな自然環境に関する学習により、地域への関心を高めます。

世代に応じたいろいろな学習メニューを充実させることにより、誰もが楽しく学べるようになり、まちづくり・地域づくり活動へとつながります。

基本目標③ 地域交流

地域の資源(大学など)を活かし、交流の輪を広げましょう

長久手の知の資源である大学と連携して事業を行うことは、大学と地域が一体となったまちづくり・地域づくりにつながります。

また、地元企業などの社会資源を有効活用することにより、効率的で専門的な学習が期待できます。

地域の交流の輪が広がり、地域の一体感や活力を醸成し、それがまちづくり・地域づくりの原動力となります。

基本目標④ 学びの場

知る機会や学びの場を充実し、 だれもが学習に取り組みやすくしましょう

生涯学習への取組みにあたっては、最初のきっかけづくりがとても重要です。だれでも簡単に学習情報を得ることができ、施設が使いやすい状況にあることが、学習に取り組むきっかけとなり、さらには学習の継続につながります。

また、地域との接点となる学習の拠点づくりにより、まちづくり・地域づくり活動の活性化が期待できます。

3 基本的な方針

基本目標の実現に向けた施策を展開していくにあたっての方向付けとして、以下の7つの基本的な方針を示します。

基本方針1 人をつくり 人を育む

市民が主体となった生涯学習を進めていくためには、人材の確保や育成が重要になってくるため、個人が地域に出るきっかけづくりから人材の育成までを、市民と行政の協働で進めます。

基本方針2 人と人をつなぐ

生涯学習を通じて人と人がつながるきっかけとなるよう、ボランティア活動の促進や退職後世代へ向けた学習のきっかけづくりなどを進めます。

基本方針3 学びの内容を充実させる

だれもが楽しく参加でき、学べる環境をつくるため、様々な学習メニューを充実させます。

基本方針4 スポーツ・健康づくりを進める

一人ひとりが健康で豊かに暮らせるように、スポーツや健康づくりに関する学習を進めます。

基本方針5 地域の交流を広げる

地域の資源を有効に活用し、大学との連携などにより地域の交流を広げます。

基本方針6 情報を得やすくする

生涯学習への取組みにあたって重要な、最初のきっかけとなる学習情報をだれでも簡単に得やすくします。

基本方針7 身近な場所で学びの場をつくる

施設を使いやすい状況にするため、小・中学校などの身近な施設の開放や生涯学習の拠点づくりなどを進めます。

4 構想の体系

